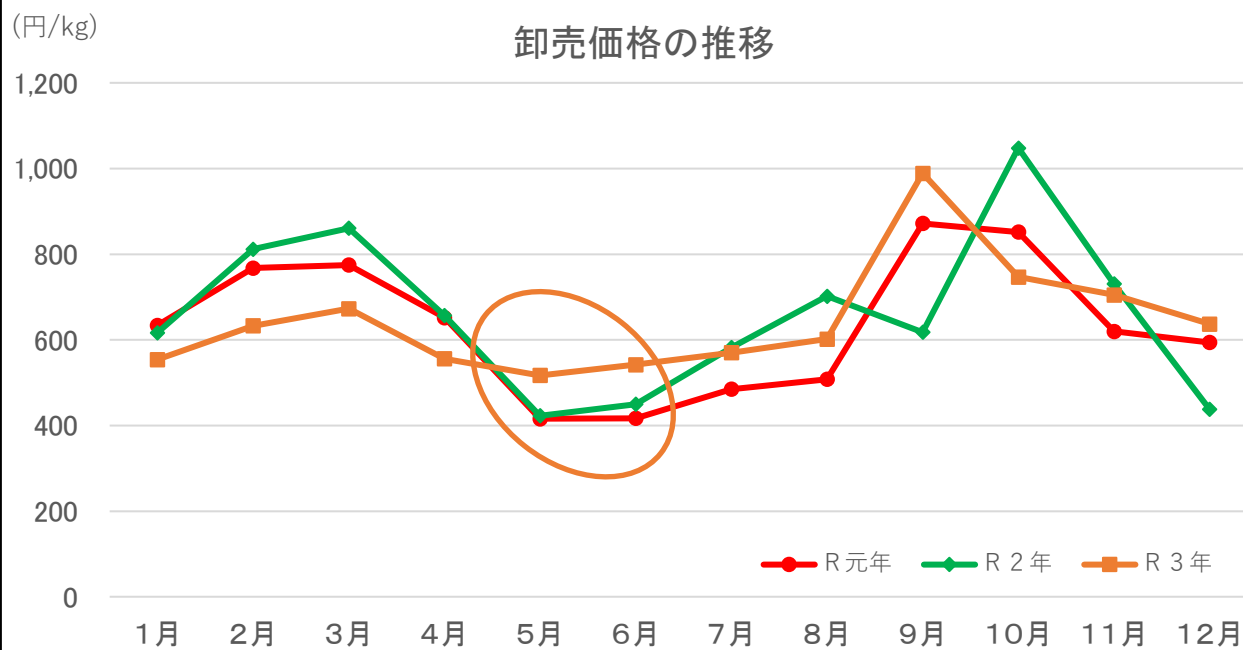
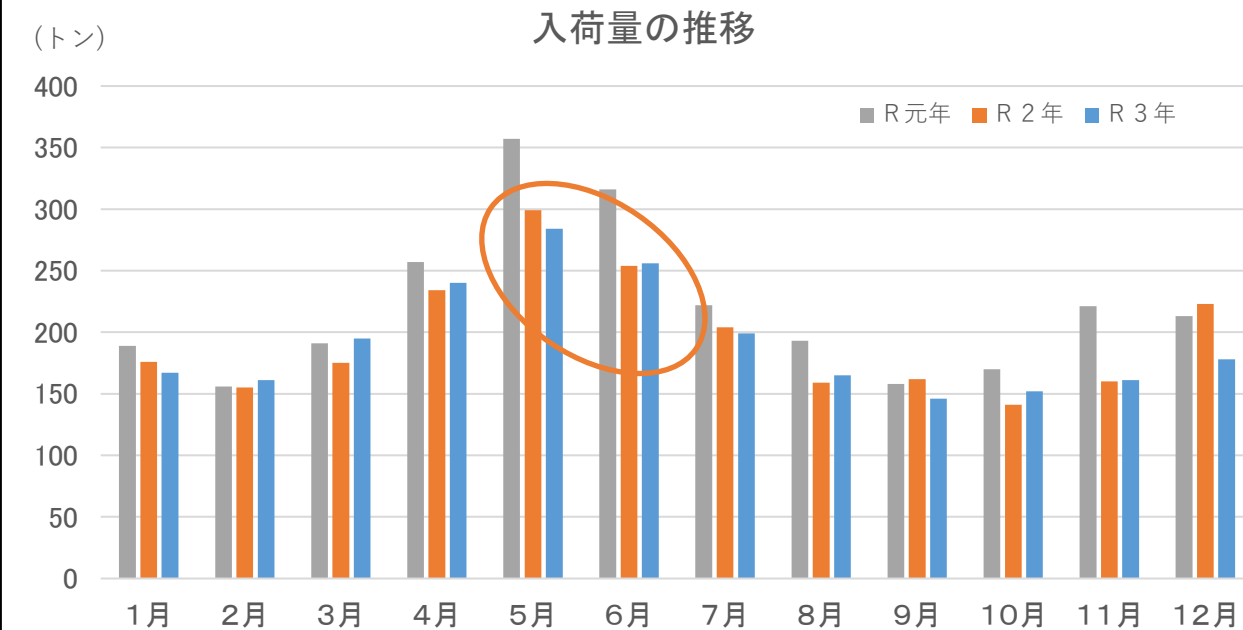


ミニトマトの動向

〇年により差があるものの、5月から6月にかけて入荷量が多くなり、卸売価格が下落する傾向が見られる。



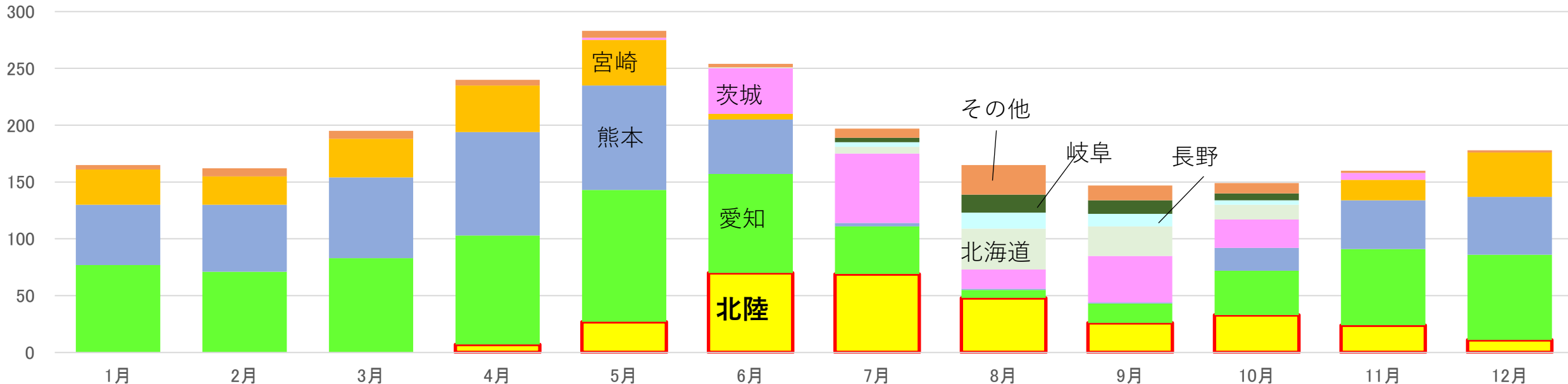
全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
113千トン	2.3千トン	14%	86%

○入荷量は、愛知産が34%、次いで熊本産が23%を占め、その2県で約6割を占めている。北陸地域からのミニトマトの供給比率は14%となっている。また、新潟産は5割以上、石川産は8割以上を北陸地域に出荷されるが、福井産は関東、近畿地域への出荷がされている。

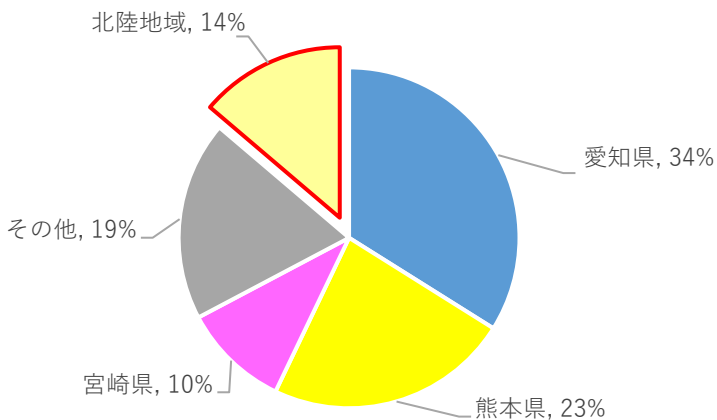
(トン)

月別・産地別入荷動向(令和3年)

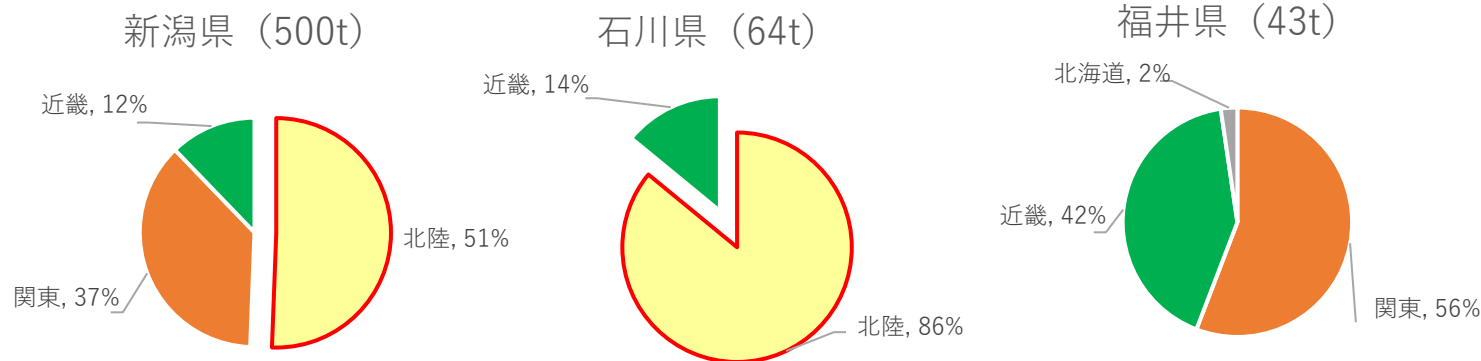
資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告



産地別取扱割合



主要消費地域への出荷量



資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告